

びとう和広後援会ニュース

2009.07.14

第23号

発行責任者
長谷川満敏

7/24 (金) は
有菱会 (三菱電機三田従業員会) の
サマーフェスティバル

お待ちしております!



写真は昨年のステージです。

暑中お見舞い申し上げます。

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年の世界同時不況から、少し光が見えかけていた矢先、インフルエンザ騒動で、また停滞ムードとなりました。国策の遅れで、水際作戦はじめ、後手に回り、5月16日、民主党代表選の最中に兵庫県内に国内感染事例が報告され、翌日には兵庫県や大阪府に大きく広がっており、阪神圏では一斉に一週間の学校・園が閉鎖となりました。各種イベントの中止、観光や飲食店の休業など経済的にも大きな打撃を与えました。今回の教訓を活かし、より猛威となりそうな冬場に向け、行動計画を見直し、連絡や医療の体制やマスクやワクチンなどの備蓄整備をお願いしています。

国政では、都議選の自公過半数を割れと民主第一党を受け、いよいよ目の前に迫った衆議院選挙に向け、政策より政争になってきました。地方分権を望む各首長グループもこの機会に道州制を始めとする要求を突きつけています。衆議院各党においては、個人攻撃ではなく、冷静に政策論争をして欲しいものです。

兵庫県では、井戸知事が100万票を越え、3期目の当選を果たしました。「参画と協働」・「共生と連帯」を進めて、元気な兵庫を期待しています。

三田市では、6月議会が閉会し、国の大型補正予算に対応し環境や教育に関連した補正6.4億円を含む9.5億円の補正予算が認可されました。以前からの課題であった教育の情報環境や地球環境・安全対策に、ほとんど国の補助金で実施でき、機を得た補正となりました。

私は6月13日、個人質問に立ち、インフルエンザ対策・安心安全のまちづくり・環境政策のあり方について、質問を行ないました。特に、危機管理の徹底による情報管理と経済影響のあり方に課題があることを指摘しました。お互いに知恵の出し合える行政と議会・市民となるよう、率先して頑張りたいと考えています。

後援会活動は、6月三菱電機労働組合三田支部と共催の潮干狩りに続き、7月サマーフェスティバル協賛やビアパーティを開催します。これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張るつもりです。皆様の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



三田市議会議員 **かずひろ**
びとう和広



議会報告(平成21年6月議会)

■補正予算

<補正予算の内容>

- ①法人市民税還付金・・・2.8億円
昨年度途中納付金の経済悪化で確定時還付分
 - ②通常補正・・・0.3億円
橋梁点検、雇用対策等
 - ③国の経済危機対策の係る追加事業・・・6.4億円
詳細下表参照(表1)
- 合計 9.5億円

■今回の「国の経済危機対策補正予算」とは

国の補正予算1兆6,987億円の経済危機対策関係経費の内、地方公共団体への予算措置は2.4兆円で、条件(事業目的や事業形態など細かく規定)に合えば、実施事業の地方負担は大幅に軽減できる仕組みです。

- ①三田市交付額は3億1280万円
- ②交付対象事業は、地球温暖化・安心安全・少子高齢化等の追加地方単独か国庫補助事業に対し、90%が補助として交付される。

■補正予算の財源内訳

今回は、国の一次補正予算を受けたもので、補正額6.42億円の財源内訳は、国庫補助1.69億円、国交付金4.57億円、補正予算債0.16億円、一般財源なしです。

表1: 国の経済危機対策の係る追加事業(6.4億円分)

国の1次補正 経済危機対策に係る追加事業単位: 百万円

	6月補正	9月予定
1.教育環境の整備	347.1	1,205.0
幼・小・中 デジタルテレビの購入	178台	43.6
小・中 電子黒板の購入	28台	19.6
小・中 校内LAN整備		103.3
小・中 教職員用パソコン配備	1021台	133.2
小・中 パソコン配置	123台	13.5
小・中 太陽光パネル設置設計	4kw×27	12.8
小・中 太陽光パネル設置工事		108.0
幼 園舎耐震補強設計	2園	5.4
幼 園舎耐震補強工事		27.0
中 柔道場整備設計	8校	15.7
中 柔道場整備工事(プレハブ)	190㎡	320.0
教育環境整備		750.0
2.安心安全のまちづくり	186.5	
(仮称)休日応急診療所設置		50.0
新型インフルエンザ対策(備品)		2.8
新型インフルエンザ対策(病院へ)		21.0
市民病院先端的医療提供機能強化		22.0
災害対応(備品:毛布千枚)		3.0
災害対応(城山体育館耐震工事)		10.0
救急車両整備(高規格救急車)		28.2
消防車両整備(水槽付ポンプ車)		49.5
3.地球温暖化	7.0	
ハイブリッド車購入	3台	6.5
クリーン啓発(転入者向けブック)		0.5
4.公共施設改修前倒し	101.4	
粗大ごみ回転式破砕機更新		61.0
西庁舎外壁改修		25.0
フラワータウン駐車場ゲート		7.5
ガラス工芸館溶解炉		4.3
聖苑非常用発電機		3.6
合計	642.0	1,205.0

■補正予算に対するびとりの考え

6月補正の内、6.4億円が今回の経済危機対策です。今回は、以前より課題になっていた事業が中心で、財政的に先延ばしにされていた事業を前倒しで実行でき、良かったと思います。三田市は厳しい財政運営の中、行財政改革を展開中であり、どうしても先延ばしになっていただけに機を得た補正となりました。しかし、大金です。これだけの金額があれば、と思うところもあります。地方分権が進めばもっと効果が出せると思います。

この事業の中に、私が3月の予算委員会で指摘した県健康福祉事務所(旧保健所)跡地の再利用を検討頂き、(仮称)休日往診診療所(医師は当番制で待機、看護師は市民病院が中心に協力体制)や医師会事務所として再利用が決定しました。5千万円で、(仮称)休日応急診療所に再利用!平成22年1月開設に向けて整備します。

県健康福祉事務所の跡地



また、市民病院は7月1日より公営企業法を全適用し、病院事業管理者として佐野院長が任命され、経営面を含めた権限委譲により、迅速な経営判断ができ、より一層信頼される病院を目指します。今回の補正予算を活かし、インフルエンザ対応や先端医療充実を図ります。さらに6月より助産師による妊婦検診・保健指導などの専門外来開設、7月より心臓センター開設、8月より新呼吸器専門内科開設、9月より腎臓内科と人工透析再開で一層安心できる医療機関を目指しています。

議会報告(6月議会:一般質問)

<一般質問(個人):(質問者:美藤)>

(び:は質問/答弁に対する私の考えです。)

1. 今回の新型インフルエンザの絡括について

問:過剰反応と対応不備があったと思う。県内感染の初期対応、休校・休園の判断基準と影響の配慮、市内発生の情報伝達と公表、発熱外来の実績と問題、解除と自粛、経済影響など、問題整理と教訓を問う。

答:今回は暫定的な「三田市新型インフルエンザ対策行動計画」を運用する中、5月16日国内初の国内感染、「県内・隣接府県での発生」、県対策本部からの情報や近隣市の状況分析により17日の本部会議で1週間の一斉臨時休校・園を決定した。新聞報道やメールやインターネット配信など積極的に情報提供に努めた。働く保護者への影響も懸念したが、感染拡大防止を最優先させた。

経済影響を配慮し、市主催の集客行事は中止したが、各種団体主催行事は自粛お願いに止めた。公共施設の利用では、全て閉館とせず、館内入り口にアルコール消毒を設置し、マスク着用の呼びかけ・衛生管理の徹底に努め、施設利用継続を図った。

び:犯人探しのような大騒ぎは情報展開の妨害になる。ウィルスの正しい情報把握と伝達、「菌」を早期に入手し、検査キットやワクチンはじめ対応策を早期に打つべきで、今回は国の対応が遅かった。今後、本来の秋冬にシーズンに向け、迅速で正しい情報伝達と各種判断や、各種備蓄と展開の仕組みづくりが急務です。

2. 安心・安全のまちづくりについて

問：危機管理と救急体制に対し、消防や救急の拠点として検討中の北分署について、時間を争う救急の拠点の考え方と、踏切を通るルート of 妥当性を問う。

答：基礎データを基に人員・車両配備と出動体制、指令と連携、重複同時出動、医療機関への搬送、消防団との連携など、市域全体の救急・消防を含め、市東部をカバーする分署設置を平成 23 年度開署に向け検討中である。

踏切はご指摘のように約一分の閉鎖を考慮できる限り使用していないが、今回再度徹底を図った。

問：JR と神戸電鉄の境に自動改札の設置を、事業者に働きかけてはどうか。

答：混雑緩和に一部有効とは考えるが、ホーム内での混乱も予測され、新たな設備投資もあり困難である。

問：歩行タバコを禁止し、罰金を取るところもある。ポイ捨てに即千円のような罰則設置を問う。

答：現在 5 万円以下の罰則があり、抑止効果を図っている。今後も広報等を活用しながら、精力的な啓発活動でマナー向上へとつなげたい。

び：モラルの向上が一番ですが、5 月 27 日三菱電機関連労組の皆様と三田駅・市役所・三菱電機の一帯のごみ拾い（約 80 人で 1 時間）で 25Kg のごみを回収しましたが、翌日にはたくさんの吸殻が落ちていました。禁止場所で吸えば、即罰金（千円程度）のような決まりがないと効果は薄いと思います。

問：行財政改革の影響を受け、縮小化される支援に対し、ボランティア団体への負担増は協働のまちづくりの推進に対し問題である。安心・安全のまちづくりの障害となるという指摘です。を問う。

答：補助金助成事業は市と状況を確認し適正な助成を図るもので、一律削減を求めたものではなく、市民・事業者・ボランティアなどの団体の公益的役は大きい。今後も互いに知恵と工夫で協働を推進する。

び：ボランティアの負担に問題があり、根本部分の支援ができていない。各団体間の情報交流やノウハウ・備品の共有を図れば本来の改革となるはずです。

3. 環境のまちづくりについて

問：ゴミ分別による削減政策の進捗について、また、分別のあり方や流通やコストの改善を問う。

答：分別と出し方ハンドブックを 1 千部作成し、廃棄物減量等推進委員に配布した。今後効率版を作成し全戸配布を目指す。指定ゴミ袋の流通は J A と契約し、市外持込が無いよう市内でのみ販売。コスト削減は研究する。

問：太陽光発電の推進について、全小・中学校に設置する計画だが、市として電力の需要と供給のバランスを含め、推進方針を問う。省エネ家電や発光ダイオード照明や地デジ対応テレビを推奨する国の施策に対し、市として、エコ推奨・助成方針を問う。

答：クリーンエネルギー利用・脱 CO2 の意識付けも考え、太陽光発電を全中小校に設置する。耐加重や面積を調査し、9 月議会で規模を上程する。エコポイントなどの市独自助成は現時点は考えていない。

び：関西の電力は原子力が 5 割、石油が 3 割、水力が 2 割である。エコを考えるなら、石油のような化石燃料使用を削減することが肝要です。太陽光発電もクリーンエネルギー推進は大切ですが、皆でエコを勧める動機付けが大切だと考えています。

びとう和広の視点

イソップ童話の『北風と太陽』をご存知でしょうか？旅人のコートをどちらが早く脱がせるか競争します。北風はコートを吹飛ばそうとしますが、強く持たれて失敗します。太陽はぼかぼかとした陽気でコートを脱がせるお話です。目的に対し、力でなく、そうなるようにもって行く、そんな温かさが大切です。

政治においても、同じだと思います。

■<今の日本・・・何かがおかしい！>

財源がないから、サラリーマン減税廃止、福祉予算削減、酒・たばこ等の増税。経費削減のために高速道路や郵便事業を分割民営化。障害者の自律を支援するために、障害者に受益者負担を課す。医療費が膨らみ破綻するから医者減らし、後期高齢者医療制度で高齢者を切り離す。原油高騰にも税率を維持し、経済危機には将来増税を前提にお金をばらまくだけ。

ここ数年間、本当に冷たい風で国民を痛みつけてきた政策ばかりです。どれも目的は正しいかも知れませんが、「仕組み」は何も変わっていません。政治こそ、安心できる社会と夢の持てる将来にむけた血の通った温かい「仕組み」を築くことが大切です。

自動車大手 GM を守るため GM に経済援助しても、破綻は一時的にしか救えません。車が売れる仕組みを作り、売れる車を作る支援をしなければなりません。そうしなければ、雇用が維持できないからです。

今、日本は、江戸から明治の大政奉還に匹敵するような大きな転換期を迎え、歴史の 1 ページになろうとしています。それは、皆様の行動に掛かっています。

■<政権交代・・・なぜ必要？>

日本では自民党中心の政権が 60 年以上続いています。更に、その政権を支えてきた官僚機構が政策を立案し、事あるごとに第三セクターや関連法人が作られそのポストに官僚が天下りしてしまいました。その天下り先を 3 年程度で渡り歩き、その都度数千万円単位の退職金を手にしていたのです。（当然資金は税金です。）

各都道府県や市町村では、常に国からの補助金や交付税・交付金が財源となっているため、国政へのパイプが必要となってきます。だから、官僚出身の知事が多いのです。今回、名古屋市や静岡県では民主党首長が誕生しましたが、このまま地方分権が進まなければ国からの支援が少なく、運営が厳しいはずで

このように、長く同じ人が続けていると、しがらみや特定の利権が生まれます。

民主党はこの天下りや利権関係を一度断ち切るために、政権交代を訴えているのです。ほとんど機能していない第三セクターや関連法人を整理し、事業を見直すだけで 10% は経費カットができると試算しています。簡単に消費税増は、しがらみのある証拠です。

しかし、自民党や官僚がこの既得権を簡単に手放すわけがありません。それが今までの歴史だったのですから。さらに、検察や警察も官僚機構の中なのですから、今まで以上の強烈な抵抗があると思います。

私は、現在の政治や社会や制度を一度大きく見直すときだと思います。皆様の選択と行動で、日本を洗濯しましょう！政権交代は、そのためのステップです。

さあ、古く重くなったコートを脱ぎ捨てましょう！

後援会活動報告

7/24(金) 有菱会 (三菱電機三田従業員会) サマーフェスティバルに協賛

<プログラム>

- 17:05 開場
- 17:15 軽音楽部ライブコンサート
- 17:55 実行委員長開会宣言
- 18:10 ヤッターマン キャラクターショー
- 18:40 有菱会会長・来賓挨拶
- 19:05 ダイナマイトしゃかりきサーカスライブ
- 19:40 よしもと爆笑ライブ
(シャンプーハット とろサーモン)
- 20:10 サマーフェスティバル大抽選会!
- 20:40 閉会宣言

以上のステージ行事の他、
各種屋台でにぎわいます。
後援会として協賛し、
新鮮野菜市を開きます。

朝採りの新鮮野菜
1パック百円均一!
早い者勝ちです。
品切れの際は
ご容赦ください。

びとう後援会主催 ビアパーティー開催

7/29(水)

18:00~20:00
菱和会館にて
会費制

申込みは、別紙にて!



8/1(土) 三田まつり (花火大会あります)

びとう和広後援会は、三田まつりを応援します。
花火大会の募金へのご協力、
よろしくお願いいたします。

民主党兵庫県第5区より

～～ 政権交代で次代を築く ～～

麻生内閣に対する支持率が10%台に低迷し、総選挙を控えて自民党内の混乱ぶりが報じられています。選挙に危機感をもつ一年生議員が公然と麻生総理に交代を求めたり、東原宮崎県知事が自らを自民党総裁にしろと言わんばかりの発言をするなど政権政党の威信と信頼はどこへ行ったのでしょうか。

平成21年度補正予算も政権の無力さや迷走ぶりをさらけ出しています。14兆円超という戦後最大規模ですが、その中身は選挙向けのバラマキと官僚の天下り先確保のための補助金、そして高速道路料金や子育て応援など民主党のつまみ食いの政策です。中でも天下り法人に対して3兆円もの巨費が含まれていますが、再三ムダづかいが指摘され、廃止対象になっている法人に巨額の箱物予算をつけるなど国民を欺くものです。ドサクサ紛れに天下り利権を拡大させ、2年後には国民に消費税の増税を押し付けるもので、呆れ果てるばかりです。

政治状況で政権を争う選挙を控えています。今は現政権や官僚政治の悪弊や欺瞞をいくらあげつらっても空しいばかりで、次代をどう再生するのかを論じなければなりません。世界を覆う経済不況や様々な問題の噴出は時代の転機を示しており、政治や行政機構の変革が求められています。中央集権から地方分権へ、官主導から民主体の政治へ、政権交代によって大転換を果たして参ります。

最後になりましたが、美藤議員に格別のご指導をいただいていることに心よりお礼申し上げます。誠意と良識をもって三田市政のためにご活躍いただいております。今後とも力を合わせて頑張っていきたいと存じます。



民主党兵庫県第5区総支部代表 梶原やすひろ
前衆議院議員

びとう和広後援会より

暑中お見舞い申し上げます。

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。また、後援会活動におきましても、ご理解とご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、三田市の全体と将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組むとともに、皆様とともに、安心して元氣なまちづくりのため、政策を進めてまいります。

議会改革活動も精力的に進め、市政のチェックや後援会活動とあわせて、力強く邁進しております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様にも少しでもお出合いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。これからも、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bit-to-kazuhiro.com>